

2008年（平成20年）海外邦人援護統計

目 次

I	事件・事故等総援護件数の特徴と推移	1
1.	2008年（平成20年）の特徴	1
2.	援護件数・人数の推移総括表	2
3.	地域別援護件数・人数の推移総括表	3
4.	援護件数の多い在外公館上位20公館	4
5.	2008年（平成20年）の主な事件・事故の事例	5
6.	主な犯罪加害及びその他の事例の特徴	6
7.	海外で邦人が被害者となった主な殺人事件	6
8.	麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴	7
II	海外邦人援護統計の推移と2008年の内訳（グラフ）	9
III	事件・事故等援護関係統計（全世界及び地域別内訳）	16

2009年（平成21年）8月

外務省 領事局 海外邦人安全課

I. 海外邦人援護件数の特徴と推移

1. 2008年（平成20年）の特徴

(1) 2008年において我が国在外公館及び財団法人交流協会が取り扱った海外における事件・事故等に係わる総援護件数は16,364件（対前年比2.51%増）で、総援護対象者数は18,098件（同2.58%増）であった。

(2) 『犯罪加害』は462件（514人）であった。主なものは、「出入国・査証関係犯罪」（100件、109人）、「麻薬」（60件、63人）、「傷害・暴行」（53件、58人）、「道路交通法違反」（47件、49人）、「外為法・関税法」（33件、38人）である。

(3) 『犯罪被害』は5,574件（5,998人）であり、全体の3分の1を占めているが、そのうち最も多いのは「窃盗被害」（4,428件、4,670人）である。次いで「強盗被害」（421件、496人）、「詐欺被害」（380件、433人）がこれに続く。

(4) 『事故・災害』では、「交通事故」（180件、342人）が最も多く、その死亡者数は40人であった。「レジャー・スポーツ事故」（30件、32人）がこれに続く。

(5) 地域別では、アジア地域が6,941件（7,549人）と前年に引き続き最も多く、次いで欧州地域（3,931件、4,343人）、北米地域（3,271件、3,485人）、大洋州地域（768件、824人）、中南米地域（754件、1,043人）、アフリカ地域（406件、526人）、中東地域（293件、328人）となっており、北米地域及び中東地域の取り扱い件数増加がみられる。

(6) 在外公館別の援護件数を見ると、取り扱い件数の多い順では、1位在タイ大使館（1,231件）、2位在上海総領事館（1,165件）、3位在ロサンゼルス総領事館（920件）、次いで在フィリピン大使館（853件、前年4位）、在ニューヨーク総領事館（679件、前年8位）となっており、特に在タイ大使館は16年連続で援護件数が全在外公館中、最多となっている。

< 件 数 >

	総件数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中東	アフリカ
事故・災害	313	内	136	68	22	40	22	6	19
戦闘・暴動	16		9	0	0	2	0	0	5
犯罪加害	462		270	112	12	42	14	7	5
犯罪被害	5,574		1,886	578	396	2,273	241	51	149
疾病	961		534	108	39	143	19	37	81
行方不明	134		65	30	5	22	6	3	3
その他	8,904		4,041	2,375	280	1,409	466	189	144
総数	16,364		6,941	3,271	754	3,931	768	293	406

< 人 数 >

	総人数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中東	アフリカ
事故・災害	647	内	214	106	33	169	33	15	77
戦闘・暴動	104		79	0	0	13	0	0	12
犯罪加害	514		297	120	13	52	17	10	5
犯罪被害	5,998		2,011	606	457	2,437	256	57	174
疾病	1,013		551	113	44	161	19	38	87
行方不明	142		66	33	5	26	6	3	3
その他	9,680		4,331	2,507	491	1,485	493	205	168
総数	18,098		7,549	3,485	1,043	4,343	824	328	526

2. 援護件数・人数の推移総括表

年	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	負傷者数	海外渡航者数
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
1999年	13,569件	6,482件	3,132件	3,955件	15,657人	462人	600人	16,357,572人
前年比増減率	5.86%	2.91%	10.87%	7.07%	-21.31%	-3.75%	29.31%	3.49%
2000年	14,754件	7,132件	3,261件	4,361件	17,141人	439人	881人	17,818,590人
前年比増減率	8.73%	10.03%	4.12%	10.27%	9.48%	-4.98%	46.83%	8.93%
2001年	14,118件	7,714件	2,311件	4,093件	16,745人	467人	684人	16,215,657人
前年比増減率	-4.31%	8.16%	-29.13%	-6.15%	-2.31%	6.38%	-22.36%	-9.00%
2002年	14,364件	6,837件	2,166件	5,361件	16,996人	516人	670人	16,522,804人
前年比増減率	1.74%	-11.37%	-6.27%	30.98%	1.50%	10.49%	-2.05%	1.89%
2003年	14,472件	5,947件	2,508件	6,017件	17,426人	483人	691人	13,296,330人
前年比増減率	0.75%	-13.02%	15.79%	12.24%	2.53%	-6.40%	3.13%	-19.53%
2004年	16,023件	6,066件	3,086件	6,871件	21,871人	564人	788人	16,831,112人
前年比増減率	10.72%	2.00%	23.05%	14.19%	25.51%	16.77%	14.04%	26.58%
2005年	15,955件	6,022件	3,231件	6,702件	19,503人	615人	669人	17,403,565人
前年比増減率	-0.42%	-0.73%	4.70%	-2.46%	-10.83%	9.04%	-15.10%	3.40%
2006年	16,523件	5,839件	3,157件	7,527件	18,771人	484人	590人	17,535,053人
前年比増減率	3.56%	-3.04%	-2.29%	12.31%	-3.75%	-21.30%	-11.81%	0.76%
2007年	15,964件	5,341件	3,122件	7,501件	17,643人	547人	610人	17,294,935人
前年比増減率	-3.38%	-8.53%	-1.11%	-0.35%	-6.01%	13.02%	3.39%	-1.37%
2008年	16,364件	5,229件	2,813件	8,322件	18,098人	615人	600人	15,987,250人
前年比増減率	2.51%	-2.10%	-9.90%	10.95%	2.58%	12.43%	-1.64%	-7.56%

注(1) 海外渡航者数は歴年。邦人援護件数は1994年度(平成6年度)までは会計年度ごと、1995年(平成7年)以降は歴年ごとに取りまとめたもの。

(2) 死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

(3) 海外渡航者数は法務省入国管理局統計を採用した。

3. 地域別援護件数・人数の推移総括表

年	アジア		北米		中南米		欧州		大洋州		中近東		アフリカ		総数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1999年	4,717	5,420	3,042	3,510	414	567	4,238	4,798	718	827	171	188	269	347	13,569	15,657
前年比増減率	9.80%	-47.47%	8.45%	11.53%	8.95%	17.15%	-0.54%	4.26%	2.72%	3.76%	25.74%	8.67%	11.62%	-7.96%	5.86%	-21.31%
2000年	5,015	5,943	3,230	3,595	423	501	4,763	5,403	905	1,207	162	180	256	312	14,754	17,141
前年比増減率	6.32%	9.65%	6.18%	2.42%	2.17%	-11.64%	12.39%	12.61%	26.04%	45.95%	-5.26%	-4.26%	-4.83%	-10.09%	8.73%	9.48%
2001年	5,375	5,989	2,794	3,945	450	592	4,285	4,798	895	1,054	100	116	219	251	14,118	16,745
前年比増減率	7.18%	0.77%	-13.50%	9.74%	6.38%	18.16%	-10.04%	-11.20%	-1.10%	-12.68%	-38.27%	-35.56%	-14.45%	-19.55%	-4.31%	-2.31%
2002年	5,643	7,242	2,668	2,913	468	552	4,286	4,740	972	1,115	112	123	215	311	14,364	16,996
前年比増減率	4.99%	20.92%	-4.51%	-26.16%	4.00%	-6.76%	0.02%	-1.21%	8.60%	5.79%	12.00%	6.03%	-1.83%	23.90%	1.74%	1.50%
2003年	5,645	7,019	2,677	3,036	559	704	4,120	4,802	1,026	1,175	124	143	321	547	14,472	17,426
前年比増減率	0.04%	-3.08%	0.34%	4.22%	19.44%	27.54%	-3.87%	1.31%	5.56%	5.38%	10.71%	16.26%	49.30%	75.88%	0.75%	2.53%
2004年	6,200	10,871	2,839	3,097	708	913	4,657	5,131	1,128	1,258	203	226	288	375	16,023	21,871
前年比増減率	9.83%	54.88%	6.05%	2.01%	26.65%	29.69%	13.03%	6.85%	9.94%	7.06%	63.71%	58.04%	-10.28%	-31.44%	10.72%	25.51%
2005年	6,263	7,033	2,833	4,374	756	961	4,441	5,159	1,061	1,192	281	321	320	463	15,955	19,503
前年比増減率	1.02%	-35.30%	-0.21%	41.23%	6.78%	5.26%	-4.64%	0.55%	-5.94%	-5.25%	38.42%	42.04%	11.11%	23.47%	-0.42%	-10.83%
2006年	6,911	7,845	2,906	3,096	605	864	4,652	5,001	816	914	270	495	363	556	16,523	18,771
前年比増減率	10.35%	11.55%	2.58%	-29.22%	-19.97%	-10.09%	4.75%	-3.06%	-23.09%	-23.32%	-3.91%	54.21%	13.44%	20.09%	3.56%	-3.75%
2007年	6,924	7,618	2,732	2,877	734	923	4,210	4,630	731	793	245	278	388	524	15,964	17,643
前年比増減率	0.19%	-2.89%	-5.99%	-7.07%	21.32%	6.83%	-9.50%	-7.42%	-10.42%	-13.24%	-9.26%	-43.84%	6.89%	-5.76%	-3.38%	-6.01%
2008年	6,941	7,549	3,271	3,485	754	1,043	3,931	4,343	768	824	293	328	406	526	16,364	18,098
前年比増減率	0.25%	-0.91%	19.73%	21.13%	2.72%	13.00%	-6.63%	-6.20%	5.06%	3.91%	19.59%	17.99%	4.64%	0.38%	2.51%	2.58%

注：下段は前年比

4. 援護件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1,231件	11	在バルセロナ日本国総領事館	385件
2	在上海日本国総領事館	1,165件	12	在大韓民国日本国大使館	363件
3	在ロサンゼルス日本国総領事館	920件	13	在サンフランシスコ日本国総領事館	363件
4	在フィリピン日本国大使館	853件	14	在シドニー日本国総領事館	295件
5	在ニューヨーク日本国総領事館	679件	15	在スペイン日本国大使館	243件
6	在香港日本国総領事館	627件	16	在ホノルル日本国総領事館	231件
7	在フランス日本国大使館	608件	17	在ホーチミン日本国総領事館	202件
8	在英国日本国大使館	589件	18	在瀋陽日本国総領事館	194件
9	在広州日本国総領事館	462件	19	在ミラノ日本国総領事館	186件
10	在中華人民共和国日本国大使館	402件	20	在イタリア日本国大使館	182件

(参考) 交流協会台北事務所：113件

5. 2008年（平成20年）の主な事件・事故の事例

(1) 事故・災害

- 航空事故
 - 2月 米国カンザス州ハッチンソン市内で、小型機が墜落し、操縦していた邦人1名が死亡した。
 - 6月 ハワイ島コナ空港を離陸し行方不明となっていた小型飛行機がマウナ・ロア山で発見され、邦人3名が遺体で発見された。
 - 12月 米国ハワイのオアフ島で、軽飛行機が墜落し、搭乗していた邦人3名が負傷した。
- 登山事故
 - 5月 米国アラスカ州のマッキンリー山で登山中の邦人2名が行方不明となり、発見されなかった。
 - 10月 中国（チベット自治区）のヒマラヤ高峰クーラカンリで登山中の邦人3名が雪崩に巻き込まれ死亡した。
 - 12月 米国カリフォルニア州のシャスタ山で、登山中の邦人1名が転落し死亡した。
 - 12月 タイ・クラビのトンサイ湾にある岩山でロッククライミング中の邦人男性1名が転落し死亡した。
 - 12月 ニュージーランドのクック山で登山中の邦人2名が悪天候のため遭難し、うち1名が死亡、1名が負傷を負った。
- 水難事故
 - 10月 米国ハワイのカウアイ島で遊泳中の邦人1名が死亡した。
 - 10月 オーストラリア・ケアンズ・グリーン島で、遊泳中の邦人1名が行方不明となり、捜索の結果死亡が確認された。
- レジャー事故
 - 3月 カナダ・バンクーバー北方のウィスラーでスノーボードをしていた邦人が遭難し、捜索の結果死亡が確認された。
- 交通事故
 - 1月 タイのペチャブン県山中で、邦人が乗車したワゴン車が横転し、邦人2名が死亡、1名が負傷した。
 - 5月 ボリビアのポトシ州ウユニ塩湖で、邦人観光客5名が乗車した車両が対向車と衝突炎上し、同5名が死亡した。
 - 5月 中国安徽省黄山市で、バスが転落し、邦人乗客のうち、1名が重傷、2名が軽傷を負った。
 - 7月 ブラジルのサンパウロ市郊外の高速度道路で、在留邦人1名が交通事故に遭い、死亡した。
 - 10月 米国アイオワ州で邦人団体の乗ったバスが横転事故を起こし、10名が負傷した。
 - 11月 マレーシア・ジョホール州で、邦人団体が乗ったバスが横転し、1名が死亡、12名が負傷した。
- 船舶事故
 - 3月 米国ベリング海上で邦人乗組員4名が乗船していた米国企業の船舶が沈没し、4名のうち3名の無事は確認されたが、1名が行方不明となり発見されなかった。
- 災害
 - 5月 中国四川での大地震の際、九寨溝ツアーに参加していた邦人が被害に巻き込まれたが、無事ヘリコプターで救出された。
- 暴動
 - 11月 タイ・バンコクで、反政府市民団体が空港を占拠したため国際空港が長期間閉鎖され、約7000名以上の邦人が帰国できず現地での滞在を余儀なくされた。

(2) 犯罪被害

- 殺人・同未遂 「海外で邦人が被害者となった主な殺人事件」（P. 6）参照
- 強盗・同未遂 旧ソ連を始めとする欧州地域では路上強奪及び羽交い締め強盗の被害が多数報告された。アジア地域では引き続き睡眠薬強盗が多発している。また、中南米地域及びアフリカ地域では複数名による凶器を用いた路上強盗や侵入強盗が多発している。強盗被害の手口は地域によって異なる。
- 窃盗・同未遂 欧州地域において、レストランや列車、バスなどの交通機関の車内、ホテルのロビー等での置き引き被害や話しかけられた隙に財布をすられる等のスリ被害が多発した。
- 詐欺・同未遂 タイ、ベトナム（特にホーチミン）、中国（特に上海）などアジア地域で、邦人旅行者の「ぼったくりバー」での被害及び「いかさま賭博」に巻き込まれる事件が多く報告された。

6. 主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

(1) 犯罪加害

- 出入国・査証関係犯罪 不法滞在、不法入国、密入国幫助等の出入国管理法違反、旅券・査証の偽変造事犯等が含まれる。
- 詐欺 偽造クレジットカード行使や、会社・知人等から金銭をだまし取る等の事例が発生した。
- 麻薬犯罪 「麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴」（P. 7）参照

(2) その他の事例

- 疾病 疾病による死亡者は、417人を数え全死亡者の約70%を占める。
- 精神傷害 「精神障害者の性別・年齢別特徴」（P. 8）参照
- 遺失 本人の不注意によるものが大半を占める。
- 出入国・査証関係 在留邦人、邦人旅行者が移民局等とトラブルを起こしたケースが含まれる。逮捕又は国外退去措置を受けるに至った場合には犯罪加害として集計した。
- 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収等のため、海外に転出した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁、裁判所及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

7. 海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

- 1月 ベルギーのアントワープ市在住の邦人女性が、夫に殺害された。
- 3月 米国オハイオ州レイノルズバイーグ市在住の邦人女性が別居中の夫に射殺された。
- 4月 フィリピンのカビデ州在住の邦人女性が同人宅で刺殺された。
- 5月 米国ボストンにおいて、入院中の邦人男性が同じく入院中の男性と口論になり刃物で腹部を刺され死亡した。
- 7月 フィリピンのカバナトゥアン市内で邦人男性の妻がひったくりに遭った際、加害者に邦人男性が銃で撃たれ死亡した。
- 8月 タイのナコンラーチェシーマー県の公園で邦人男性の遺体が発見され、現地警察は殺人事件と断定した。
- 9月 ギリシャのエビア島にて、自宅内で邦人女性が死亡し、同女性の両親が殺害容疑で逮捕された。
- 10月 フィリピンのマカティ市の飲食店の外で、邦人男性が頭部等に発砲を受け死亡した。
- 11月 フィリピンのマニラ市内のホテル室内で、邦人男性の刺殺遺体が発見された。
- 11月 ブラジルのサン・ミゲル・パウリスタ市に在住の邦人が自宅内で殺害された。

8. 麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴

(1) 麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	50	44	6	0	2	18	14	9	7	0	0	4	42	4
北米地域	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0
中南米地域	5	4	1	0	0	3	1	0	0	1	0	0	4	1
欧州地域	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0
大洋州地域	3	2	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	2	0
中東地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	63	55	7	1	2	26	15	11	7	1	1	10	48	5

(2) 疾病者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	551	436	92	23	26	35	33	70	115	215	57	257	255	39
北米地域	113	63	49	1	7	7	6	6	15	46	26	64	39	10
中南米地域	44	25	17	2	4	13	5	4	6	9	3	16	26	2
欧州地域	161	73	75	13	5	13	16	16	18	56	37	49	108	4
大洋州地域	19	9	9	1	1	2	3	1	2	7	3	9	9	1
中東地域	38	30	4	4	1	5	7	5	4	8	8	16	21	1
アフリカ地	87	53	25	9	1	35	21	11	7	7	5	56	21	10
合 計	1013	689	271	53	45	110	91	113	167	348	139	467	479	67

(3) 精神障害者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	108	67	39	2	3	10	38	21	16	11	9	32	70	6
北米地域	131	49	80	2	3	19	30	17	24	14	24	63	36	32
中南米地域	10	6	4	0	0	1	2	3	1	3	0	8	2	0
欧州地域	98	25	73	0	1	23	25	16	13	7	13	41	51	6
大洋州地域	13	5	8	0	2	4	3	0	1	2	1	8	5	0
中東地域	3	3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1
アフリカ地	4	3	1	0	0	2	1	0	0	1	0	1	3	0
合 計	367	158	205	4	9	60	100	57	55	38	48	154	168	45

(4) 行方不明者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	66	44	20	2	10	9	3	17	5	12	10	16	45	5
北米地域	33	17	16	0	0	13	2	3	3	9	3	11	18	4
中南米地域	5	4	1	0	0	0	2	1	1	0	1	1	4	0
欧州地域	26	13	13	0	2	2	5	3	1	7	6	12	11	3
大洋州地域	6	4	2	0	1	2	0	0	0	2	1	3	3	0
中東地域	3	1	2	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3	0
アフリカ地	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1
合 計	142	86	54	2	13	26	13	24	11	32	23	43	86	13

(5) 被安否照会者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	176	134	41	1	12	46	38	16	26	17	21	42	107	27
北米地域	91	41	48	2	2	28	16	11	4	7	23	66	14	11
中南米地域	19	13	3	3	1	5	2	2	5	1	3	9	7	3
欧州地域	67	26	39	2	3	19	8	5	6	7	19	34	22	11
大洋州地域	26	7	18	1	0	11	6	1	0	0	8	24	2	0
中東地域	6	3	3	0	0	1	3	0	1	0	1	0	6	0
アフリカ地	14	8	6	0	0	6	2	1	1	0	4	6	5	3
合 計	399	232	158	9	18	116	75	36	43	32	79	181	163	55